

2025年度 授業コード: SDJ07900

授業科目	海外研修 A				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	通年
担当教員	Kristen Maree Sullivan						
授業概要	<p>この科目は、夏季および春季休暇中に、本学が指定する海外研修プログラムに自立的に参加するものです。プログラム参加を通して、異文化理解・異文化適応能力、語学力、課題解決能力を育成するとともに、グローバルな視野を身につけることを目的とします。（但し、海外研修プログラムにより重点が異なります。）説明会でそれぞれの海外研修プログラムの内容や全体のスケジュールなどを必ず確認してください。そのうえで、自身の目標等に合わせて参加するプログラムを決めて、責任をもって諸手続きや事前準備などに取り組んでください。出発前には、海外渡航に必要な諸手続きや、海外生活に向けての安全対策や心構えに関する事前準備を行います。また、帰国後は報告会を行います。事前・事後指導は、土曜日や夏休み・春休み期間を使い集中的に行います。海外留学にかかる諸経費は、すべて受講生の自己負担となります。</p> <p>※海外渡航のためパスポートが必要です。パスポートを持っていない場合早めに申請してください。パスポートをすでに持っている場合、「現地を出国時に半年以上」の残存有効期間がないと推定できる場合、パスポートの更新を行ってください。</p> <p>◎3種類の海外研修プログラムから選べます：</p> <p>① 短期海外研修（グループで参加）</p> <p>② 語学留学（個人で参加）</p> <p>③ インターンシップ留学（個人で参加）</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、海外研修実践		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<p>1. 海外研修先の様々な場で、様々な相手とコミュニケーションをはかろうとすることができる。</p> <p>2. 様々な状況や問題に柔軟に対応しようとするすることができる。</p> <p>3. 海外研修での経験を客観的に振り返ることができる。</p>						
理想的レベル	<p>1. 海外研修先の様々な場で、自分から進んで様々な相手とコミュニケーションをはかろうとすることができる。</p> <p>2. 様々な状況や問題に対し、主体的に動き柔軟に対応しようとするすることができる。</p> <p>3. 海外研修での経験を客観的に振り返り次に活かそうとすることができる。</p>						
評価方法・評価割合							
	評価方法	評価割合（数値）			備考		
	試験						
	小テスト						
	レポート	40					
	発表（口頭、プレゼンテーション）	20			帰国後の報告会での発表		
	レポート外の提出物						

その他		40		事前準備中の自律的な取り組み姿勢 (20%)、研修中の取り組み姿勢(20%)	
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング					
DP1	○	DP2	-	DP3	-
				DP4	-
ナンバリング					-
学習課題(予習・復習)					1回の目安時間(時間)
渡航先の国の文化や社会について勉強する。 対象言語の4技能の訓練をする。(特にリスニングとスピーキング)					0
授業計画					
第1回	<p>この科目は、通常の履修登録とは異なるので、注意してください。別途開催される説明会に参加することが必要である。時間割上に授業科目が設定されないため、科目担当者からの連絡をUNIPAなどで必ず確認しておくこと。また、事前指導は、土曜日や休み期間中に設定される。</p> <p>◎夏季休暇中の海外研修参加の場合のスケジュール：</p> <p>4月：説明会に参加する。</p> <p>5月中旬：参加プログラムを主催する会社に直接申し込みをする。主催会社から提示されるスケジュールに従ってプログラム費用の支払いなどを行う。</p> <p>[科目担当者がまとめて履修登録]</p> <p>6月～7月：事前指導(安全対策、ビザ、保険などの手続きを含む)</p> <p>8月～9月：海外渡航(海外研修実践)</p> <p>10月：帰国報告会</p> <p>◎春季休暇中の海外研修参加の場合のスケジュール：</p> <p>9月：説明会に参加する。</p> <p>10月下旬：参加プログラムを主催する会社に直接申し込みをする。主催会社から提示されるスケジュールに従ってプログラム費用の支払いなどを行う。</p> <p>[科目担当者がまとめて履修登録]</p> <p>11月～1月：事前指導(安全対策、ビザ、保険などの手続きを含む)</p> <p>2月～3月：海外渡航(海外研修実践)</p> <p>4月：帰国報告会</p>				
テキスト	必要に応じて教材を担当者が準備する。				
参考図 書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	適宜紹介する。				
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	<p>レポート：コメントをつけて返却する。</p> <p>事前指導等での態度：口頭でコメントをする。</p> <p>報告会での発表：口頭でコメントをする。</p>				

学生への メッセージ・コメント	<p>言うまでもないことですが、海外に行くとき、現地のことば（もしくは広く共通語として成り立っていることば）が分かると、様々な面において非常に役に立ちます。語学留学以外の海外研修も、できる限り、出発前に現地のことばまたは英語に触れておく機会をつくるようにすると良いでしょう。（語学留学の場合は、できるだけ対象の言語によるコミュニケーション能力を高めて渡航するとより効果が期待できるでしょう。しっかり対象言語で自分の考えを伝えられるよう練習をしてください。）また、自分が渡航する国の文化や社会について十分に調べて理解を深めてください。異文化の中で生活する際には自分の常識が通用しないことがあります。現地の人たちとしっかりコミュニケーションを取りながら現地の習慣や考え方を柔軟に取り入れることができるように準備しておきましょう。</p>
--------------------	--